

学年	教科等	単元名	児童	場所	指導者
4年	国語科	「説明の仕方を工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう」	4年4組32名	4年4組 教室	澤井 陽子

**育てたい資質・能力**

## ◎国語科において育成を目指す資質・能力から本時にかかわる主な資質・能力

**情報を編集・操作する力（思考力・判断力・表現力等）**

〈本時にかかわる主な資質・能力〉

段落のつながりを考えながら、より分かりやすい文章に修正する力

**1 単元について**

## (1)単元の目標と評価規準

**【単元の目標】**

書こうとするものの中心を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書くことができる。

本単元は、学習指導要領「第3学年及び第4学年」の内容

**B 書くこと**

- ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。
- イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。
- ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。
- オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。
- カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。

を受けて設定したものである。

本単元は、「説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章」を書く活動である。4年生はクラブ活動を始めたばかりであり、今年一年関心をもって活動していた。そのため、詳しい活動を知らない友達・家族や3年生に紹介したい気持ちがある。したがって本単元は、相手を意識して、どの内容が相応しいか思考する学習に適している。単に活動の事実を羅列するのではなく、楽しさやよさを伝えさせたい。

絵と文、写真で説明する学習内容は、1・2年生では、順序を考えながら書く、3・4年生では、段落相互の関係を考えて書くことを目指すなど、系列的に配列している。本単元では、全単元の説明文を読む学習を通して身に付けた力を、書く学習に生かすようになっている。今後、5・

6年生で読み手を引き付ける文章を書くためへのステップとしたい。また、調べた事柄に基づいて自分の関心を書くだけでなく、相手の読みたいことに配慮して書くことを意識させたい。

リーフレットを作成するにあたって、リーフレットの目的を理解し、目的意識をもって取り組ませたい。

#### 【評価規準】

【国語への関心・意欲・態度】	【書く能力】	【言語についての知識・理解・技能】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく説明するために、写真を選んだり、文章を書いたりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の構成を理解し、書くことの中心を明確にして書こうとしている。</li> <li>・選んだ写真と文章を対応させて書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・句読点を適切に打ち、必要な箇所は改行して書こうとしている。</li> </ul>

### (2) 児童の実態

本学級は、学習課題に対し、意欲的に取り組むことができる子どもが多い。特に、自分の意見や考えを積極的に発表しようとする。「書くこと」については、朝学習の時間に週1度ほど100マス作文に取り組んできた。また、3年生の時から書く活動に力を注がれてきた学級であるため、書くことに抵抗感はない。しかし、思ったことや考えたことを短時間でまとめられる子どもがいる一方で書くのに時間のかかる子どもがいるなど個人差が大きい。これまでの国語科では、書く活動を丁寧に取り組んできた。「新聞を作ろう」の単元では、国語科で学んだ知識を生かし、総合的な学習の時間で調べたごみ・リサイクルの内容を意欲的に書くことができた。しかし、調べた本や資料をそのまま写してしまったり、絵や写真と文章が適応していなかったりという子どもも多くいた。また、調べたことをまとめることで精一杯で、相手や目的を意識したり、文章の組み立てを考えたりすることまでには至らなかった。

### (3) 指導の手立て

単元の流れを掲示し、何を学ぶかを明確にし、見通しをもたせる。導入では、実際のリーフレットを紹介することによって、その特長やよさを知り興味をもたせたい。

本単元においては、構成の指導事項「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成する」ことを重点とする。文章の構成については、短冊原稿を貼った構成表を使用する。いくつかの文章を書いた短冊原稿を友達と交流し、観点を明確にした相互評価をすることで、友達の評価を参考にし、自分で構成表を完成させ、そのことにより、段落のつながりを意識した文章の組み立てを学ぶことができると考えた。

振り返りについては、ワークシートを用いて行う。毎時間の評価規準に基づき、ワークシートの記述、授業内の子どもの活動などから指導方法を修正し、次時の活動に生かしていきたいと考える。

努力を要する子どもに対する手立てとしては、文章組み立てポイント表を用意しポイントに沿って書いたり、友達のアドバイスを取り入れ書き加えたりさせていきたい。

次	時	○学習活動	教師の評価規準（評価方法） ◇到達が不十分な児童への指導の手立て
つかむ・見通す	① ②	○リーフレットに興味をもち、単元の学習の見通しをもつことができる。 ○伝える相手と内容を決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">3年生に「2016クラブ活動」リーフレットを作って、読んでもらおう。</div>	㊦リーフレットについて興味をもち、単元の学習に意欲をもっている。（発表） ◇様々なリーフレットを見せ、興味をもたせる。 *リーフレットの提示により学習への興味と見通しをもたせる。 *書く相手を選ぶことで相手意識をもたせる。
調べる・考える	③	○ものの見方の観点を広げ、説明したい内容を考えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>改善ポイント①</b>            教師が与える学習計画ではなく、子どもとともに考えた学習計画をつくるとよかった。解決の方法や、時間の目安なども、子どもに考えさせる。         </div> ㊦伝えたい相手を意識しながら、説明する内容を考えている。 （ノート） ◇同じクラブの友達と一緒に考えさせる。
調べる・考える	④	○文章の組み立てをすることができる。	㊦「初め」「中」「終わり」の役割を理解し、自分の伝えたいことが明確になるように文章の組み立てを考えている。（構成表） （発言・ノート） ◇教科書を見て、文章の組み立てを考えさせる。
調べる・考える	⑤ 本時	○相手に伝わりやすいリーフレットを書くために、どのように文章を組み立てるとよいかを考える。	㊦段落のつながりを考え、自分の構成表を見直している。 （構成表） ◇友達の構成表と見合い、助言を基に自分の構成表を見直す。

まとめる	⑥ ⑦	○クラブのよさが伝わるようにリーフレットを仕上げることができる。	㊦構成表を基に相手・目的意識をもちながらリーフレットを書いている。(下書き・清書)  ◇下書きをした者を見直して、清書させる。
広げる	⑧	○リーフレットを紹介しあい、感想を伝えることができる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           写真と文章を対応させ、書くことを中心にはっきりさせて書くと、分かりやすいリーフレットが書ける。         </div>	㊦友達のリフレットを読んで、よさを伝え合うことができる。(発表)

### 3 本時の学習

#### (1) 本時の目標

段落のつながりを考えながら、より分かりやすい文章に修正することができる。

#### (2) 本時の展開【8時間扱い 5本時／8時間目】 \*一単位時間レベルB-②【対話重視】

	子どもの活動	思考	□教師の働きかけ ◆評価(評価方法)
導入 5分	1 前時の振り返り  2 課題把握  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             相手に伝わりやすいリーフレットを書くために、どのように文章を組み立てるとよいかを考えよう           </div>	全体	<input type="checkbox"/> 単元の学習課題を意識させる。 <input type="checkbox"/> 単元の計画を基に課題に気付かせる。
展開 30分	3 文章の組み立てを確認する ①教師の例文で「初め」と「終わり」のつながりを考える。 ②例文プリントから全文のつながりを考える。(ペア) ③文章を組み立てる際に必要なポイントを考える。(一斉)  4 グループで交流 ・分かりやすい文章にするために、文の並べ方を考えたい。 ・写真と文が対応しているか確かめよう。	全体  ペア  全体  グループ	<input type="checkbox"/> 例文を参考にしながら、段落のつながりを考えさせる。 ・段落のチェックポイントに気付かせる。 ・グループ交流の仕方を確認させる。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <b>改善ポイント②</b>              児童の主体性を生かした活動とするのであれば、「グループで交流することのよさ」を引き出し、児童の方から「グループで交流したい」と思えるようにできるとよかった。           </div> <input type="checkbox"/> ポイントを基に段落のつながりを考えさせる。

終末 10分	5 構成表を修正する	個	*視点をもちながら交流し、友達との対話を通して、表現のしかたや文章の組み立てを考えていく。
	6 学習のまとめ	全体	<input type="checkbox"/> 友達の助言を受け、自分の構成表を修正させる。 <input checked="" type="checkbox"/> 段落のつながりを考え、構成表を見直し、修正している。
	相手に伝わりやすい文章を書くには、段落のつながりを考えるとよい。		
	7 学習の振り返り	個	<input type="checkbox"/> 課題と意欲の面で、振り返りをさせる。
	8 次時の予告		

### (3) 本時の評価

◇評価規準の具体 (評価方法～発言, リーフレット)

【書くこと】

**十分に満足できる (A)**: より分かりやすく伝える文章にするために、「アップとルーズで伝えよう」で学んだ工夫しながら、自分の感じたことや絵の見方を効果的に伝えるように書くことができる。

**おおむね満足できる (B)**: 事実と感想を区別して、学んだことを参考にしながら、表現を工夫して自分の伝えたいことを書くことができる。

**努力を要する児童への指導**: 文章の組み立てポイント表を用意し、ポイントに沿って書くようにする。



## 4 取り入れたアクティブ・ラーニングの視点と授業改善のポイント

### (1) 授業のねらい

#### 【アクティブ化シートA】

～相手意識、目的意識をもち、単元を通して主体的に活動する～

単元を貫く言語活動を意識した単元構成を工夫した。単元の導入場面では、前年度の4年生が書いたリーフレットを提示し、リーフレットについての興味を引き出すとともに、「アップとルーズの表現方法を使えばリーフレットを作ることができる」という見通しももたせたい。また、書く相手を「お家の人」「友達」「3年生」の中から選べるようにする。そうすることで、相手や目的を明確にすることができると考えた。また、単元の追究解決場面においても、相手や目的に立ち返ることで、意欲化を図る。

#### 【アクティブ化シートB-②（対話重視）】

～段落のつながりを考えながら交流し、わかりやすい文章にする～

構成表を修正する際、「段落相互のつながり」「写真と文章が対応しているかどうか」「わかりやすさ」などに視点をもたせる。次に学習形態を「グループ」とし、対話を促す状況を整えることで、一人だけでは見落としてしまうことも、友達との対話によって気付けるようにしていきたい。

### (2) 成果

- 単元の導入で、リーフレットを提示したり、クラブを紹介する相手を児童自身が選ぶことによって、相手意識や目的意識を高め、ゴールイメージを明確にもつことができた。そのことにより、意欲的にリーフレット作りに取り組み、相手や目的に合ったリーフレットを完成させることができた。
- 交流の視点を明確にし、学習形態を「グループ」とすることで、説明し合ったり、教え合ったりする活動が活発に行われ、よりよい文章表現へとつなげることができた。

### (3) 改善

#### 改善のポイント①

単元を通して、より主体的な活動とするには、教師が与える学習計画ではなく、子どもとともに考えた学習計画をつくとよいと考えた。解決の方法や、時間の目安なども、子どもに考えさせてもよかった。

#### 改善ポイント②

児童の実態をふまえ、グループ交流では、教師の方で、「交流の仕方」や「かける時間」を指示した。より、児童の主体性を生かした活動とするのであれば、「グループで交流することのよさ」を引き出し、児童の方から「グループで交流したい」と思えるようにできるとよかった。